

障害福祉サービス共通評価基準 概評〔各シート共通〕

○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①

非該当なし

②

保護者アンケートにおいて、職員による子どもの呼び捨てや感情的な注意に対する不安の声が見られたことから、職員の接遇や言動が適切に行われているかを確認する評価項目が必要である。子ども一人ひとりの尊厳に配慮した言葉遣いや、落ち着いた関わりが日常的に実践されているかについて、定期的に振り返り・評価できる視点を設けることが重要である。

「絵などの視覚支援があってもよい」との意見を踏まえ、障害特性に配慮した環境設定が適切に行われているかを評価する項目も必要である。活動プログラムや日常支援において視覚的支援を活用し、子どもが安心して見通しをもって過ごせる環境が整えられているか、その実施状況を確認する評価項目の設定が求められる。

③

適切な支援の提供について

活動内容については、外出活動や料理体験などの多彩なプログラムが「飽きさせない内容で素晴らしい」と保護者から高く評価されており、事業所の強みであることが確認できた。

満足度について

大半の保護者が「子どもが通所を楽しみにしている」「職員に親しみをもって関わっている」と感じており、日々の支援が子どもの安心感や信頼関係の構築につながっていることがうかがえる。

適切な支援の提供について

一部の職員の言動や専門性の差に対して、不安を感じている保護者の声も見られ、職員間での支援の質の均一化や、適切な関わり方についての継続的な取り組みが課題として明確となった。

非常時等の対応について

避難訓練や家族支援に関する取り組みについて「内容が分かりにくい」との回答が一定数あり、実施している支援や活動が保護者に十分伝わっていない可能性があることが示唆された。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
父母の会の活動の支援や保護者会などの開催などにより保護者同士の連携が支援されているか	保護者会については、現状では保護者の方々からのニーズが少ないため実施していない。今年度は夏祭りでの参観を通して保護者同士が顔を合わせられる機会を設けた。また、きょうだい同士の交流の場づくりにも取り組んだ。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで

